

## 指定管理者制度導入施設の管理運営実績について(平成28年度)

施設名	宮崎県男女共同参画センター
指定管理者	特定非営利活動法人 みやざき男女共同参画推進機構
指定期間	平成27年4月1日～平成30年3月31日(3年間)
県所管部課	総合政策部 生活・協働・男女参画課

### 1 施設利用状況

指 標	H28	H27	H26	増減理由等
センター利用者数	7,596	7,640	7,272	センター利用者数に大きな変動はなかったが、相談窓口については、他機関の支援が充実し課題に応じた対応がなされるようになってきたことから、利用が減少傾向にある。交流室・研修室については、地域や企業に向いていく研修等を増やした結果、センター内での研修等が減ったため、利用者数が減少した。
相談窓口利用者数	1,677	1,792	1,901	
研修室・交流室利用者数	1,913	2,121	2,570	
コメント	センター利用者数は前年度と同程度を維持できた。相談室案内のためのしおりを新たに作成して、イベント等で配布し周知を図るなど工夫しており、今後も引き続き広報を積極的に行い、センターの周知を図る必要がある。研修室・交流室については、登録グループの利用促進を図っていく必要がある。			

### 2 施設収支状況

(単位:千円)

収 入	H28	H27	H26	支 出	H28	H27	H26
指定管理料	27,066	27,066	26,013	管理費	17,948	16,482	16,766
				事業費	8,975	10,482	9,221
合 計(①)	27,066	27,066	26,013	合 計(②)	26,923	26,964	25,987
収支差額(①-②)	143	102	26				
コメント	効果的・効率的な事業及び運営が行われ、適正に執行されている。						

### 3 管理運営状況

※下線部分は、平成28年度に新たに取組んだ内容

事 項	実 施 内 容	
維持管理業務	清掃	日常清掃。定期清掃(毎週土曜日) 各室のフロアワックス清掃
	保守・点検	リース会社による印刷機・コピー機点検(月1回)(空調・電話・電気等の機械設備は総務課が所管)
	警 備	(県の警備委託会社による巡回警備)
	修 繕	(県庁9号館の設備修繕は総務課が所管)
	備品等管理	備品点検(年2回)
	安全対策	危機管理マニュアル整備、消防訓練の実施
	その他	廊下の陳列棚の整備、高齢者・妊婦・子ども連れ用駐車スペースの管理
企画運営業務	サービス提供体制整備	運営評価委員会の開催(2回)。貸室利用促進。図書・ビデオ等の利用促進。登録グループ・関係機関への支援。パネル等掲示物の貸出と提供。広報誌とホームページの充実化。講座等参加者へのアンケート調査実施。Facebookページの運営。新たに受付を設置して、利用しやすい雰囲気作りを努めた。
	イベント等ソフト面充実	講座(34回)、講師派遣(16回)、職員派遣(16回)、総合相談開設(月曜～土曜 9時～17時 ※土曜は16時30分まで)。専門相談(法律相談月1回、こころと生き方相談隔月1回)、県内男女共同参画関連施設相談員研修会(1回)、県庁、図書館でのパネル展開催。マスコミ各社への情報提供。28年度は重点テーマを「子ども」に設定して、子どもに関わる支援をしている団体等への研修や中高大学生向けデートDV予防プログラム等を実施した。企業向けの出前セミナーも回数を増やし、ダイバーシティの普及に努め、幅広い対象者の受講につながった。また、前年度に実施した事業のフォローアップを行い、自主的な活動につながる支援を行った。災害をテーマとした研修も実施して、男性にも興味を持てる研修を工夫した。市町村等からの相談にも積極的に対応している。その他、乳幼児の保護者交流の場、シニアつどいの場、子供への虐待防止プログラムを実施し、センター利用促進を図った。
	施設設備等ハード面充実	研修室・交流室・印刷機・検索用パソコンの無料使用。キッズスペースの整備。「赤ちゃんの駅」登録
	その他	消耗品及び印刷物の発注を原則として県内業者に限定。エコ商品購入。
管理運営体制	職員の資質向上のための所内研修。各種研修会参加。個人情報取扱規程、情報公開規程整備	
コメント	維持管理業務については、適正に管理が行われている。企画運営業務については、地域に積極的に外向いて講座や講師派遣を行っている。特に子どもの頃からの意識付けを重視して、子どもに関わるプログラムも数多く実施した。LGBTIについての研修や企業向けの研修を増やすなど、社会のニーズに対応した事業を行った。	

### 4 利用者満足度状況(利用者満足度調査、苦情・要望対応)

調査等方法	講座参加者に対するアンケート調査(全講座)
調査結果、主な苦情・要望内容	その対応結果等
講座実施後のアンケート調査では、ほとんどの受講者が「満足」と回答しており、非常に高い評価を得ている。「今まで意識しなかったことに気づいた。」「今日学んだことを是非地域に生かしたい。」等の意見があった。	満足度の高かった要素や要望を次年度の講座に取り入れるとともに、ダイバーシティや災害など、男性が男女共同参画の必要性を感じられる研修も行った。また、若年層への働きかけにも力をいれた。

### 5 総合評価

評価コメント	本県における男女共同参画の推進に向けた意識改革を図るため、数多くの講座や研修を着実に実施している。積極的に地域に外向いて講座等を行うほか、ニーズの変化にも対応して事業を実施している。ホームページやマスコミ等を積極的に活用し情報提供に努めている。収支状況についても、経費節減が図られ、効率的に執行されている。
今後の課題と対応	積極的な広報等により、引き続きセンターのPRに努めるとともに、気軽に立ち寄れる雰囲気作りや講座の実施等により男女共同参画に興味・関心の薄い層の取り込みも更に図っていく必要がある。社会情勢の変化に伴い男女共同参画分野における課題も変容していることから、今後ともニーズに即した講座内容の充実を図るとともに、男女共同参画地域推進員や市町村・団体・機関との連携を強化していく必要がある。